

平均月収2万円弱のルーマニアにとって、2005WOCは哀しい話題だった。彼らの年収に相当する渡航費・参加費・滞在費は過去いずれのWOCに比べても最高額。

だけど、彼らにとって一生のうちで参加できるWOCがあるとすれば、それは友人である私がいる2005WOCしか有り得ないっ！

・・・というルーマニア選手招致まで1年間の記録です。

海外遠征の為に支援金を募る機会の多い日本人選手にも、参考になればと思います。

観光局長からの電話

2004年8月3日のことだった。自宅にルーマニア観光局長シェルバンさんからの電話が鳴った。

「あー、やひろ(八尋)さんですか。メールありがとうございます。ルーマニアへの不動産投資をお考えですね。一度上京して話をしませんか。」・・・

そう。今私は、2007年EU加盟に向け、インフレしまくっているルーマニアに投資して儲けたお金でルーマニア選手招致をしようと考えているのだ。

そもそも、私が考えたルーマニア選手招致のための支援金集めの方向性は以下の二軸である。

- ・ 企業・団体・個人から支援金をもらう**スポンサー活動**
- ・ ルーマニア絡みの商売をして儲けた分を支援金にするという**チャリティビジネス活動**

については、役員クラスで知っている企業、ルーマニア選手を広告媒体として使ってくれそうな企業、およびルーマニア関連の団体に話をしまくった。でも、話が進まない。

WOC本体が行っているスポンサー活動との調整も必要になる雰囲気だった為、面倒になって止めてしまった。

残るは、である。の一案として不動産投資を私は考えたのだった。

ルーマニアの土地を買う？

そもそも、日経ビジネスの記事に、「新興国インドにおいて、土地価格が10倍になるなどして大儲かりしている資産家がいる」という情報を発見したことから始まる。

EU加盟までは物価上昇が目論めるルーマニアだって同じこと。絶対土地は儲かる！と思いついた私は、海外土地物件の仲介をしてくれそうな事務所をネットで探し、そして行き着いたのが冒頭のシェルバンさんだったのだ。彼はRO WAYという会社の代表でもあり、その会社の事業として、ルーマニアへ事業投資をしたい日本の企業へのサービス各種を行っているのだ。

彼とのアPOINTは2004年9月10日に決まった。

そこから、ちょっと考えた。まず一つに、私は不動産投資なんてやったことがない。素人が手を出してうまくいく・・・はずはない。

近所に事務所を出している知り合いの不動産屋さんに話を聞きにいった。「本当にルーマニアで土地価格が4・5倍になってるなら、僕もそのうち見に行きますよ」と笑いながらその人は私を見送った。私のようなコムスメが不動産投資なんて、そりゃ何かの冗談だと思っただろう。

二つめに、シェルバンさんとは何者なのかということだ。

多くの海外投資関連事務所が「ルーマニアへのサービスはやっていない」「あなたのような人をカモにする詐欺がいるから気をつける」という反応を示す中、シェルバンさんの反応は親切すぎる・・・。

だから、アPOINTの前に、ルーマニア大使館へ行くことにした。シェルバンさんの身元確認だけではなく、大使館へ私がやろうとしている「ルーマニア選手支援活動」を知ってもらう意味もある。

そして9月10日当日。

シェルバンさんに会う前に大使館へ立ち寄った。日本語も堪能な大使館員は、シェルバンさんなんて知らない(なんで？ルーマニアの観光局長なの

に?!)という。その後、丁寧に2005WOCの話聞いてくれた。(協力してくれそうな企業の紹介をお願いしたが、この件は後日、該当企業は無いということで連絡が来た。)

本当に買う？

そんなことで、怪しさいっぱい気持ちで墨田区のシェルバンさんの事務所を訪ねた。

全身から滲み出るエリートォッ”の雰囲気圧迫されながら一通りの用件を話した後、話題はOLからルーマニア語習得・日本語習得の難しさまで広がった。シェルバンさんは観光局長として、日本人にどうルーマニアをプロモーションしていくかというのが日々悩みのタネだという。私が企画実行した“ルーマニアうるるん紀行”の話をしたら興味津々だった。

とにかく不動産については、10月にシェルバンさんが里帰りしたときに、土地価格情報およびオススメ物件を見つけてくる(!)ということになった。

彼が1月に日本に戻ってきたときに話がまとまるようなら、そこで予約を入れてしまい、翌年1月私がルーマニアへ行ったときに現地確認のうえ、買えばいいじゃん、という結論。

私、、、本当に、、、このまま、、、ルーマニアの土地を買うのでしょうか・・・？

現実感の無い状態で帰宅し、もっと現地の情報を集める必要があると思った。いくらルーマニア選手招致のためとはいえ、これはハッキリ言って「投機」であって、ましてや不動産なんてヤクザ過ぎませんか？

どうやって現地の情報を集めよう・・・思案をしているときに唯一思いついたのは、日頃読んでいるブログ的サイト「ルーマニアの音」オーナーへ質問を投げかけることだった。

果たして、一部のルーマニアマニアに大人気のサイトオーナーは、返事をくれるのだろうか？そしてそれは、どんな内容だろう？「どうせ騙されるよ」「自分の金だから好きにやったら」という聞き飽きたアドバイスが繰り返されるだけなのだろうか・・・。

決断はまるでライフカード

「オーナー様 私はただ今カクカクシカジカOLというスポーツをやってみて、来年WOCが日本であるもんですから、ひょんなことで不動産投資を考えることになりまして・・・」

そんな脈絡の無いメールを打った次の日！ 返事が来たのです！ サイトオーナーから！！

「やひろ様 メールありがとうございます。私にはよく分かりませんが、適当と思われる日本人を紹介します」

んー、どうやら新しい登場人物に出会える予感！ 迷わず、すぐに連絡をとってみた。

その人は東川さんといって、ルーマニア現地で商売をやっている日本人。商売の一つに不動産仲介も行っている。以下、東川さんからのメール抜粋。

「ええ、確かにルーマニアでは土地価格はここ2年で2倍以上になりました。不動産投資は大変いいアイデアです。」

「ブカレストでは外国人は土地を買うことができません。ですから、中古物件をリフォームした上で値段を上乘せして販売もしくはワンウィークマンションとして賃貸するのがいいでしょう。」

ふむふむ、なんだか具体的に～。

「このサイトに現地で売り出されている物件、こっちのサイトにワンウィークマンション物件が紹介されていますから予算の件などご検討してください。」ん～～、思ったより高い・・・。

「気をつけなくてはならないのは、改修工事に信じられない位時間がかかることがあります。私の知っている焼肉屋は改修に1年近くかかってしまい、OPEN前に廃業した位です・・・」

え、まじ！？ それ、一番まずいじゃない・・・



ルーマニアの物件サイトの一部

こんな感じで東川さんとのメールの

やりとりは延々と続き、話がまとまった後に彼へ支払う手数料まで話し合ったのでした。

ルーマニアでプチ成功した彼の話は納得感もあり、本当に投資するなら最高のパートナーだと思う。でも、やっぱり怖い・・・。そんなある日、腹が決まらない私は、某浅草寺でおみくじをひいたのだった。

『第二十一 吉 ぐわんぼう叶ふべし』

まじ～！？ 出ちゃった？ どーするー？ ワタシー！ と頭の中は、ライフカードのCM並に混乱するのだった。
(続く)

意外なルーマニア特産物

話は戻って、やはり2004年の8月。土地投資を考える一方で、やはり「企業・団体・個人から支援金をもらう」という軸を捨てきれない私は、親身に話を聞いてくれる日本進出のルーマニア企業を探すことにした。

ルーマニアへ進出している日本企業はいくつかあるが、果たして逆はあるのだろうか？

・・・と探したところ、あった！

と言っても、最初に出てきたのは企業ではない。個人が作っている日記の中の一説だった。

『ルーマニアにジェロヴィタルという奇跡のアンチエイジング化粧品がある。とにかく効果がすごらしく、世界からいろんなセレブがルーマニアへやって来るらしい。現地では数百円の代物だから、日本の政府高官がルーマニアへ行ったときには、お土産でスーツの中はジェロヴィタルでいっぱいになるとか・・・』

ジェロヴィタル・・・さっそく検索してみたところ、日本での販売価格はどれも1万8000円～2万7000円位。かなりの高級化粧品だ。これが現地で数百円ならたしかにかなり儲かるだろう。

さっそく現地のエミール(39歳・軍人・オリテンティア)に聞いたみた。「ねえ、ジェロヴィタルって知ってる？」

と、ほどなく即答。

「あるよー！ すごく有名。1個数ドルだよ」・・・WOCへの支援活動を始めたということを彼に知らせて以来、彼からの返信はとても早い。

ルーマニアのほうでのサイトでも調べたところ、ジェロヴィタルはルーマニア国家プロジェクトでアナ・アスラン博士の手により開発された医薬品。国立老化予防研究所で実際の治療にも使われているという。決して商業目的でおざなりに「アンチエイジング」を謳っているものではないようだ。

これは・・・結構ホンモノではないのか？ ジェロヴィタルをキーワードに、スポンサーを獲得することはできないだろうか？



2005年ルーマニア訪問の際訪れたジェロヴィタルを研究する国立老化予防研究所

宣伝をしてあげるといふスポンサー活動

このレポートをお読みになっている方も、きっとジェロヴィタルなんていう商品は聞いたことが無いだろう。自称ルーマニア通の私も、全く知らなかった。

商品が間違いのないなら、宣伝を行うことで確実に売上は上がる。ジェロヴィタルを生産しているルーマニアの会社も輸入販売している日本の会社もそれを望んでいるはず。

WOCの場を借りて、50万円程度で宣伝ができるなら結構安いのではないだろうか？

「誰も知らないジェロヴィタルの宣伝をしてあげますよ」

そういうノリでの私のスポンサー開拓はスタートしたのでした・・・。

そして、この活動は、前段の不動産投資の案件ともコラボしていくのでした・・・。

だいたい、不動産投資ができるお金があればそれを直接ルーマニア選手に注ぎ込めばいいのでは!?という謎も解決していくのでした・・・。

詳しい続きは次号で！

(八尋弓枝 yumieyahiro@yahoo.co.jp)

*当ブログに登場する人物は実在の人物と異なっているケースがあります。